

- 問1 日本の気候区分のうち、夏は南東からの季節風の影響で降水量が多くなり、冬は晴天の日が多くて乾燥する特徴を持つ気候について、その主な要因として最も適切な説明はどれですか。 (2019年 高知県公立入試 類似)
1. 一年中吹く偏西風が、季節を問わず太平洋側から湿った空気を送り込むため
 2. 夏に大陸から吹く乾いた季節風が、日本の南海上で大量の水分を吸収するため
 3. 冬に日本海から吹く湿った季節風が、山脈を越えて湿った空気をそのまま運ぶため
 4. 夏に太平洋から吹く湿った季節風が、中央の山脈にぶつかって雨をもたらすため
- 問2 三重県の志摩半島や岩手県の三陸海岸などで見られる、山地の谷が沈んだり海面が上昇したりすることによって、岬と湾が複雑に入り組んだ形になった海岸を何というか。 (2016年 山口県公立入試 類似)
1. 砂州
 2. リアス海岸
 3. 三角州
 4. カルデラ
- 問3 都市の景観を保全したり、災害時の電柱倒壊による道路の寸断を防ぐ防災機能を向上させたりする目的で、電線を地中に埋設して地上から電柱をなくす都市整備の手法を何といいますか。 (2026年 長野県公立入試 類似)
1. 再開発
 2. 景観条例
 3. 土地区画整理
 4. 無電柱化
- 問4 小笠原諸島の自然環境と、そこでの人々の生活や地理的条件について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2025年 山梨県公立入試 類似)
1. 大陸と地続きであった時代に渡ってきた大型の哺乳類が、現在も野生状態で数多く生息している。
 2. 東京都に属しているが、緯度が非常に高いため、冬には流水が接岸するなどの寒冷な気候が特徴である。
 3. 気候は一年を通じて温暖な亜熱帯に属しており、独自の進化を遂げた動植物を保護するための取り組みが行われている。
 4. 落葉広葉樹であるブナの林が島全体を覆っており、秋には紅葉を楽しむ観光客が多く訪れる。
- 問5 日本の気候は、季節によって吹く向きが逆になる風の影響を強く受けています。夏には太平洋側から湿った空気を運び、冬にはユーラシア大陸側から吹き込んで四季の変化をもたらす、この風の名称を答えなさい。 (2026年 山形県公立入試 類似)
1. 貿易風
 2. 海陸風
 3. 季節風
 4. 偏西風
- 問6 山地から平地へと川が流れ出る場所に土砂が堆積してできた扇状地では、その土地の性質を反映した利用がなされています。扇状地の多くが、水田よりも果樹園や畑として利用されてきた理由を、堆積した土砂の性質に着目して説明したものを選びなさい。 (2025年 大阪府公立入試 類似)
1. 周囲の地形に比べて標高が低く、冷たい水が溜まりやすいから
 2. 土砂の隙間が大きく水はけが良いため、水を溜めておくのが難しいから
 3. 堆積した土砂が細かく固まっているため、根が深く張りやすいから
 4. 土砂に肥料分が多く含まれており、果実の糖度を高めるから
- 問7 日本の地熱発電の背景や特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 茨城県公立入試 類似)
1. 二酸化炭素を大量に排出する石炭を燃料とするため、環境保護の観点から国立公園内への設置は厳しく制限されている。
 2. 送電時の電力ロスを抑えるため、電力消費の多い東京や大阪などの大都市近郊にある火山帯に集中的に建設されている。
 3. 太陽光発電と同様に日照時間に影響を受けやすいため、梅雨の時期や冬には発電量が著しく低下する特性がある。
 4. 天候に左右されず安定した発電が可能であり、火山が集中する東北地方や九州地方に発電所が多く分布している。
- 問8 瀬戸内海沿岸の地域で見られる「瀬戸内の気候」について、年間を通じて降水量が少なくなる理由を説明したものととして、最も適切なものを選びなさい。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
1. 北西の季節風が中国山地に、南東の季節風が四国山地にさえぎられ、湿った空気が流れ込みにくいから。
 2. 標高の高い盆地に位置しており、周囲を高い山々に囲まれているため、雲が発生しにくい上昇気流が起こるため。
 3. 日本海から吹く湿った季節風が中国山地を越える際、大量の雪を降らせた後の乾燥した空気が流れ込むため。
 4. 黒潮（日本海流）の影響を強く受ける一方で、夏に太平洋からの湿った季節風が直接吹き込まない地形であるため。
- 問9 九州地方の阿蘇山周辺で見られる、火山の噴火によって地下のマグマが大量に放出された後、地表面が陥没して形成された巨大なくぼ地を何と呼びますか。 (2023年 徳島県公立入試 類似)
1. 扇状地
 2. カルデラ
 3. シラス台地
 4. 盆地
- 問10 太平洋沿岸を流れる日本海流（黒潮）の影響を受けている地域では、その気候特性を活かした農業が盛んです。この海流がもたらす影響と産業の様子を説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 埼玉県公立入試 類似)
1. 冬でも気温が温暖に保たれるため、高知県や静岡県などで果樹栽培や野菜の促成栽培が行われている。
 2. 北からの冷たい海水を運んでくるため、夏でも涼しく、北海道を中心に大規模な畑作が行われている。
 3. 日本海側へ流れ込むことで冬の降雪量を増やし、新潟県などで稲作が盛んになる要因となっている。
 4. 海流の影響で夏に「やませ」と呼ばれる冷たい風が吹き、東北地方の稲作に冷害をもたらしている。
- 問11 兵庫県や香川県などの瀬戸内周辺の地域では、ため池の数が1万か所を超えるなど、全国的に見ても非常に多く設置されています。これらの地域でため池が多く作られた要因となる、この地域の地形や気候の特徴を説明したものととして正しいものを選びなさい。 (2017年 広島県公立入試 類似)
1. 冬の季節風が山を越えて吹き下ろす際に乾燥する「フェーン現象」が一年中発生し、土地が乾燥しやすいから。
 2. 中国山地と四国山地に挟まれているため、季節風による湿った空気がさえぎられ、年間降水量が少なくなるから。
 3. 火山灰が積み重なったシラス台地が広がっており、地面に水がしみ込みやすく川が干上がりやすいため。
 4. 平野部が少なく地殻変動が激しいため、大きな河川の流れが不安定で、水をせき止めておく必要があるから。
- 問12 火山活動に伴って形成される「カルデラ」と呼ばれる地形の説明として、その成り立ちを正しく述べたものはどれですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)
1. 氷河によって削られた深い谷に海水が入り込み、複雑に入り組んだ入江が続く海岸地形
 2. 火山の噴火によってマグマが噴出した後、地下の空洞が陥没したり爆発で削られたりしてできた大規模なくぼ地
 3. 河川が山地から平野に出る場所に、上流から運ばれてきた砂利や砂が扇状に堆積してできた地形
 4. 火山灰が風に運ばれ、広範囲にわたって厚く降り積もることによって形成された台地
- 問13 九州地方の阿蘇山周辺など、火山の分布が見られる地域において、大規模な噴火の後に山体の中央部が陥没することで形成された、巨大な円形や楕円形のくぼ地を何と呼びますか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
1. カルデラ
 2. 盆地
 3. 扇状地
 4. シラス台地

答え合わせ・解説

問1	答え 4 夏に太平洋から吹く湿った季節風が、中央の山脈にぶつかることで雨をもたらすため	日本の気候は季節風（モンスーン）の影響を強く受けます。夏季は太平洋の高気圧から南東の湿った季節風が吹き込み、それが日本列島の中央部にある山脈にぶつかることで、太平洋側に多くの雨を降らせます。逆に冬季は、シベリアからの北西の季節風が山脈を越える際に水分を失うため、太平洋側では乾燥した晴天の日が多くなります。
問2	答え 2 リアス海岸	陸地が沈降したり、海面が上昇したりすることで形成される「沈水海岸」の代表的な地形です。ノコギリの歯のように複雑に折れ曲がった海岸線が特徴で、入り組んだ湾内は波が穏やかになるため、真珠やカキの養殖に利用されています。
問3	答え 4 無電柱化	電線を地中化することで、伝統的な街並みや観光地の景観を美しく保つことができます。また、地震や台風などの自然災害時に電柱が倒れて避難路や輸送路を塞ぐリスクを減らすなど、防災面でのメリットも重視されています。
問4	答え 3 気候は一年を通じて温暖な亜熱帯に属しており、独自の進化を遂げた動植物を保護するための取り組みが行われている。	小笠原諸島は北緯27度付近に位置し、気候区分では亜熱帯に属します。海洋島という特性から大型の哺乳類は本来存在せず、カタツムリの仲間や植物などに多くの固有種が見られます。落葉広葉樹（ブナ）は東北地方などの冷温帯に見られるものであり、流氷は北海道のオホーツク海沿岸で見られる現象です。
問5	答え 3 季節風	ユーラシア大陸と太平洋の間に位置する日本では、夏は海から陸へ、冬は陸から海へと吹く向きが変わる季節風（モンスーン）が吹きます。これにより、夏は蒸し暑く、冬は日本海側で雪が多くなるなど、日本の四季の特色が形作られています。
問6	答え 2 土砂の隙間が大きく水はけが良いため、水を溜めておくのが難しいから	扇状地などの堆積地形は、粒の大きい砂や礫が積もってできているため「水はけ」が非常に良いのが特徴です。水田を作るには地表に水を溜める必要がありますが、水がすぐに地下へ浸透してしまう扇状地では水田開発が困難でした。一方で、水はけの良さを好むブドウやモモなどの果樹栽培や畑作には適していたため、現在のような土地利用が広がりました。
問7	答え 4 天候に左右されず安定した発電が可能であり、火山が集中する東北地方や九州地方に発電所が多く分布している。	地熱発電は、地下から噴き出す蒸気を利用するため、太陽光や風力といった他の再生可能エネルギーと異なり、天候や昼夜を問わず24時間安定して発電できる（設備利用率が高い）という大きな利点があります。日本では、火山帯が位置する東北地方や九州地方にその資源が集中しており、エネルギー自給率の向上や温暖化対策の観点からも注目されています。石炭を燃焼させるわけではないため、発電時に二酸化炭素をほとんど排出しないのも特徴です。
問8	答え 1 北西の季節風が中国山地に、南東の季節風が四国山地にさえぎられ、湿った空気が流れ込みにくいから。	瀬戸内の気候は、北側の中国山地と南側の四国山地に挟まれているという地形的要因に強く影響されます。冬の冷たく湿った北西季節風は中国山地で、夏の湿った南東季節風は四国山地でそれぞれ遮られ、山を越える際に雨や雪を降らせます。その結果、瀬戸内海周辺には乾燥した空気が流れ込むため、年間を通じて降水量が1100mm程度と少なく、晴天の日が多いのが特徴です。
問9	答え 2 カルデラ	火山の噴火によって地下のマグマが噴出したあとに、地表がその重みを支えきれずに沈み込む（陥没する）ことで、広大な「くぼ地」が形成されます。これをカルデラと呼び、熊本県の阿蘇山は世界最大級の規模を持つことで有名です。選択肢のシラス台地は火山噴出物が積もってきた台地であり、地形的な特徴が異なります。
問10	答え 1 冬でも気温が温暖に保たれるため、高知県や静岡県などで果樹栽培や野菜の促成栽培が行われている。	日本海流は多量の熱を運ぶ暖流であるため、沿岸部では冬の気温が下がりにくくなります。この温暖な気候を利用して、高知県（土佐平野）や静岡県などでは、他の地域よりも早く野菜を出荷する促成栽培や、ミカンなどの果樹栽培が発達しました。夏に冷害をもたらすのは寒流の親潮（千島海流）の影響です。
問11	答え 2 中国山地と四国山地に挟まれているため、季節風による湿った空気がさえぎられ、年間降水量が少なくなるから。	瀬戸内地域は、北側に中国山地、南側に四国山地が位置しています。夏は太平洋からの湿った風が四国山地に、冬は日本海からの湿った風が中国山地にさえぎられるため、年間を通じて雨や雪が少なく、乾燥しやすい気候になります。そのため、稲作などに必要な水を確保する手段として、多くの「ため池」が作られました。
問12	答え 2 火山の噴火によってマグマが噴出した後、地下の空洞が陥没したり爆発で削られたりしてきた大規模なくぼ地	カルデラはスペイン語で「鍋」を意味し、火山活動によって生じる特有の地形です。地下にあった大量のマグマが噴火によって一気に地表へ放出されると、地下に巨大な空洞が残ります。その上部にある地表面が自重を支えきれずに陥没したり、あるいは激しい爆発によって周囲が削り取られたりすることで、円形の巨大なくぼ地が形成されます。選択肢にある扇状地やリアス海岸は、それぞれ河川の堆積作用や沈水によってできる地形で、火山の直接的な活動によるものではありません。
問13	答え 1 カルデラ	火山の噴火によって地下のマグマが大量に放出されると、地下に空洞ができ、山体の中央部がその重みに耐えきれず崩れ落ちることがあります。このようにして形成された広大なくぼ地をカルデラと呼びます。熊本県の阿蘇山は世界最大級のカルデラを持つことで知られ、その内部には草原や田畑、集落が広がっています。